



## 1 和歌山県学校教育ICTグランドデザインについて

### （1）策定の趣旨

和歌山県の教育の大綱及び第4期和歌山県教育振興基本計画で掲げる「めざす姿」を実現するため、学校教育の情報化及びデジタル化にかかる方向性を示す具体的な施策を掲げる計画として策定します。

### （2）位置付け

学校教育の情報化の推進に関する法律第9条第1項に定める本県における学校教育情報化推進計画とします。

### （3）基本方針

- ① 児童生徒の資質・能力の育成及び教職員の指導力の向上
- ② いつでもどこでもつながる安全・安心なICT環境の構築
- ③ 持続可能な組織体制の整備と教育DXの推進

### （4）期間

令和6（2024）年度から令和9（2027）年度までの4年間

### （5）対象

県内の公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校及び教育委員会

## 2 現状と課題

### （1）国の動向

### （2）和歌山県の現状と課題

- ア ICTを活用した教育に関わる「人」
- イ 基盤となるICTの「環境」
- ウ 学校教育の情報化及びデジタル化を推進するための「組織」

## 3 めざす姿【IC<sup>2</sup>T(アイダブルシーティ)をあたりまえに】

本県がめざす教育を実現するためには、児童生徒・教職員だけでなく、教育に関わる全ての人々が、情報（Information）を正しく得た上で、失敗を恐れずに挑戦（Challenge）し、得たスキルやノウハウを活用しながら他者とのコミュニケーションを図り協働し（Communication）、技術（Technique）を学び磨き続ける必要があります。

この考え方を【IC<sup>2</sup>T（アイダブルシーティ）】という新しい概念として位置づけ【IC<sup>2</sup>Tをあたりまえに】のコンセプトのもと、基本方針に則り、本グランドデザインの取組を進めていきます。

## 4 具体的な施策

### （1）児童生徒の資質・能力の育成及び教職員の指導力の向上

教職員・児童生徒だけでなく、教育に関わる全ての人が正しい情報モラルを身に付け、ICTをあたりまえに活用し、ICTのメリットを適切に享受できる姿をめざします。

- ア 情報教育の充実
- イ 健康面への配慮
- ウ いじめ・自殺対策及び不登校にかかる対応の充実
- エ 特別な支援を必要とする児童生徒への教育環境の整備
- オ 教職員のICT活用指導力の向上
- カ ICTを効果的に活用した授業の推進
- キ 人材の確保

### （2）いつでもどこでもつながる安全・安心なICT環境の構築

快適に利用できるインターネット環境と、時間や場所を選ばない安全なクラウド環境を構築し、誰もが安心して学び・働くことができる環境の実現をめざします。

- ア 安全・安心に学べるICT基盤の整備
- イ ICT学習環境の充実
- ウ 校務の情報化の推進
- エ 統合型校務支援システムの整備

### （3）持続可能な組織体制の整備と教育DXの推進

業務の適切な効率化による働き方改革や、多様な担い手との連携による支援体制の充実により、持続可能で着実な教育DXの実現をめざします。

- ア 持続可能な組織体制の整備
- イ 教育DXを推進する組織の確立と充実

### （4）目標とする指標

※目標とする指標は抜粋

指標	目標値(2027年度)
1人1台端末を授業でほぼ毎日活用している学校の割合 【全国学力・学習状況調査/文部科学省】	小学校 100% 中学校 100%
県立学校における授業で使用する教室の無線LAN環境の整備率	100%
統合型校務支援システムの導入率	100%